

・消防団のやりがい

消防団は、普段はサラリーマンや自営業など、それぞれ仕事を持ちながら、火災や災害が起きたときに「わたしたちの町はわたしたちで守る」という使命感に燃えて、地域住民のために活躍しています。

また、災害時だけでなく平常時においても、防火指導、特別警戒など地域の防災力向上のために重要な役割を担っています。



操法大会の様子



・役場職員消防協力隊

昼間は町内団員が非常に少なく、また地域住民の方も高齢化が進み、火災発生時の初期消火に苦慮しているのも問題としてあります。

そこで、昼間、多くの職員がいる八百津町役場において消防団員が出動してくるまでの初期消火を手助けできるよう、消防協力隊を結成しました。

・いま、消防団は

消防団を取り巻く環境は変化しており、消防団員数の減少や団員の高齢化などの問題に直面しています。特に団員数の確保には苦慮しており、再入団や協力団員制度等を設けるなど、確保に努めていますが、今後さらに新入団員が減れば、欠員や統廃合を行わなければならないと、一人も団員がいない地域も出てくる可能性があります。

入団に対して抵抗を感じている方も多いと思います。しかし、消防団は同じ地域の人たちで活動しており、その活動を通じて多くの仲間や地域の方々とも交流することができます。

そして私たちのふるさと「八百津町」を守るという使命感にあふれる活動をすることは大変素晴らしいことだと思います。

あなたも伝統ある八百津町消防団に入ってみませんか？

